

2012 年度認知言語学セミナー

- 題 目： 認知言語学と日英語対照研究—ことばからこころと文化に迫る—
- 日 時： 2012 年 9 月 7 日（金） 受付は教室前で 12 時半から
- 場 所： 大東文化大学・板橋キャンパス
- 講 師： 廣瀬幸生（筑波大学）
- 内 容： 本セミナーでは、認知言語学的観点に立つ日英語対照研究の具体例を示し、それを通して、ことばからこころと文化に迫る方法について考えます。特に、言語はその話し手の思考や経験のありように影響を与えるとする言語相対論的考え方と、人間に共通の基本的な認知のあり方が言語に反映されるとする認知論的考え方がどのように折り合うかという点に重きを置きます。認知言語学研究を志す学部生・大学院生だけでなく、広くことばと人間や、ことばと文化の関係に関心のある方も対象とします。
- 時間割： 12:30 受付開始
- 13:00-14:30 第 1 講義（語の意味の対照研究）
- 14:30-14:45 休憩
- 14:45-16:15 第 2 講義（言語における主体性の対照研究）
- 16:15-16:30 休憩
- 16:30-17:00 質疑応答

講義概要

第 1 講義「語の意味の対照研究」では、言語文化論として有名な鈴木孝夫著『ことばと文化』における「水」と water をめぐる相対論的議論を認知論的観点から再考し、それを出発点として、言語間で概念体系は異なっても、そこに一般的な概念化能力の特性が反映されているということをもとに見ていきます。

第 2 講義「言語における主体性の対照研究」では、ことばによる自己表現としての「主体性」を取り上げ、日英語の対照研究を通して、いわゆる日本人論・日本文化論を再考し、それによって、伝統的日本人論で主張される集団性の論理の背後に、実は、英語などの西洋語以上に強い個の意識に根ざした体系があるということを見ていきます。